

明るいニュースが地域をつくる!

鳥羽高生がまちに飛び出し活躍中!

三重県立鳥羽高等学校 ☎ (25)2935

企画財政課企画経営室 ☎ (25)1101

三重県立鳥羽高等学校 2 年次授業の「鳥羽学」では、鳥羽高校と市役所が連携し、地域の魅力や課題を学ぶとともに、その魅力の発信や課題の解決に取り組んでいます。

今年度の「鳥羽学」では、三重県教育委員会のコーディネーターと地域おこし協力隊が授業に参加し、石鏡町と鳥羽なかまちで班に分かれて実践的な地域学習に取り組んできました。

鳥羽高生がまちに飛び出して活躍することで、まちの明るいニュースとして報道されています。

市内唯一の県立高校である鳥羽高校の明るいニュースは、鳥羽市を元気にしてくれます。今後も鳥羽高校と市役所が連携しながら、地域学習「鳥羽学」に取り組んでいきます。

石鏡町コース

海女文化の魅力を発信! 高校生が制作する世界初の「海女 VR 映像」

生徒たちは、石鏡町を訪れ現役の海女さんと触れ合い、市立海の博物館でも学習するなかで、海女の存在を知らないかたがたにもその魅力を伝えたいと強く感じました。

特に、「鳥羽の海の豊かさは海女さんがいることで守られている」ということを表現したいと思い、VR 映像の制作を進めました。

1 月 17 日に東京の三重テラスと市立海の博物館とをインターネット中継しながら、VR 映像の完成記者会見が行われました。

制作にあたり協力いただいた企業のかたや多くの報道陣の前で、高校生自らが取り組み成果を堂々と発表し、テレビや新聞でも大きく報道されました。

VR 映像は、「見る」だけではなく「体験」できることが特徴で、石鏡町や海女文化の魅力を多くのかたに「体験」していただけるように構成されています。

海女 VR 映像は、市立海の博物館で 5 月上旬まで展示していますので、ぜひ一度体験してみてください。



地域おこし協力隊
上田 茉莉子 さん

授業が進むたびに生徒たちの自主性が格段に上がっていくのを感じました。完成した VR 映像により、多くのかたに海女文化や鳥羽の海の豊かさが伝えられていくと思うと、とてもうれしいです。

まちの見どころが分かりやすい! 高校生目線で紹介する「まち歩きマップ」



地域おこし協力隊
佐藤 千裕 さん

石鏡町には、観光客向けに配布するマップがないということを知り、まちを散策していただくためのマップづくりに取り組みました。マップに載せて PR したいポイントを写真におさめながらまちを歩き、イメージを膨らませていきました。

石鏡町の魅力を伝えるためにレイアウトや表現、全体のデザインをどう工夫するかということが難しかったのですが、「高校生の目線で紹介する」ということを大切に、親しみやすく分かりやすいマップを目指して作成しました。

生徒のみなさんは、載せる情報の吟味やマップ全体のイメージをつかむまでにとても苦労していたように思います。高校生が自分たちの言葉とイラストで一生懸命に作ってくれたので、他にはないような石鏡町の魅力が詰まったマップになりました。

人の温かさと昭和レトロな魅力を紹介！ 高校生主演の「コマーシャル動画」

生徒たちは、フィールドワークを通じて自分たちが見つけた鳥羽なかまちの魅力を多くのかたに発信するため、2班に分かれてコマーシャル動画を制作しました。

一つは、普段の何気ない買い物風景の中にも、和気あいあいとした会話が見られる、なかまちの温かさを表現した「なかまちかえりみち」。もう一つは、下校途中、過去になかまちに存在したであろう駄菓子屋さんに、一瞬迷い込んでしまう作品「よみ替え蘇る風景 なかまちの記憶」です。

フィールドワークの際にはいくつかの店舗をまわり、商品の説明やまちへの想いを聞き取りました。生徒たちは実際に販売されている商品やまちの雰囲気、人の温かさなど、多くの魅力をどうすれば短い動画で伝えられるか意見を出し合い、納得がいくまで何度も撮影し、手探りで編集作業にあたりました。

完成した動画は、動画共有サービス YouTube で公開される予定ですので、ぜひご覧ください。



地域おこし協力隊
佐藤 創 さん

生徒のみなさんは映像制作が初めてのようでしたが、慣れないながらも作業に励んでいました。完成した動画を見たかたが、鳥羽なかまちの昭和レトロな雰囲気を感じ取っていただければと思います。



立ち寄る人を増やしたい！お店の魅力を一目で伝える「手作り看板」

フィールドワークで鳥羽なかまちを歩き、「三十六点景」といわれる街並みのすてきな風景を見てまわり、まちの様子や大切にしている雰囲気を感じ取りました。「それぞれのお店をもっとお客さんにアピールできれば」という課題を解決するため、お店の魅力を分かりやすく伝える看板を作ることになりました。看板を作る上で気を付けたことは、インタビューの際に伺ったお店のかたのニーズに応えることと、高校生らしいデザインをするということです。

生徒が制作した手作り看板を見て、お店に立ち寄るお客さんが増えてくれればと思います。

鳥羽高校2年 木村 神菜さん



VR 映像の作成により、多くのかたに海女文化を伝えられるきっかけになったと思います。

4人で動画を撮るのは楽しかったですが、何を见せたいのか工夫することなどが難しかったです。

わたしは自分の意見を伝えるのが苦手でしたが、今回の活動では海女文化の良さを伝えるのに、グループみんなと納得できるまで議論することができました。この活動を通じて、わたしたちの知らない海女文化や石鏡町の魅力を知ることができました。一人でも多くのかたに海女の魅力を知ってもらえるように、これからも活動していきたいと思っています。

鳥羽高校 角屋 貴久 校長



日頃は本校の教育活動へご理解ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本校では今年度、県教委より「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」の指定を受け、生徒が地域の特色や産業を題材に地域の魅力や課題を知り、自分たちに何ができるのかを主体的に考え行動する学習活動に取り組んでいます。その中で、学校だけの学びだけでなく、生徒が多様な価値観に触れることで、協働する力や地域への愛着、誇りをもって学ぶ姿勢を育成しています。

今後も地域に学び、地域を学ぶ、そして、国際交流などを通して、「国際感覚豊かな、地域に貢献できる人材」を育成したいと考えています。市民のみなさまにおかれましても鳥羽高の前進に向け、なお一層のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。